

金型マスターとは

スペシャリストをゼネラリストに育てる

世界で戦う実力を見せる化

金型は、お客様とともに作り上げるものです。しかも、一度納めればそれで終わりではなく、納めた後も長年に渡り使い続けていただく商品です。だからこそ、金型を生み出す過程、使い続ける過程でこそ手厚いアフターケアを誇る「日本の金型メーカー」の真価が発揮されるのです。JaDMA（日本金型工業会）の金型マスター認定制度は、その日本ブランドを守り高めるために設けられました。金型製作に優れた技能・技術を持つとともに、正しい知見と製造現場を統率できるリーダーシップを有する人材をマスターとして認定。選定基準のひとつとして国際的に確立させることで、世界で戦う日本の金型メーカーの真価をよりわかりやすい形で見せる化をする。

金型マスター制度が目指すもの

日本の金型メーカーの高品質なものづくりを見せる化

金型マスター認定制度は、マスターの認定を通して、高品質な金型をつくるメーカーを見せる化を図ります。認定制度を導入することにより他国との技術力の差別化をはかります。認定制度の有効性をお客様に認めていただき、お客様を通じて世界のデファクトスタンダードを作ります。

金型業界の次世代リーダー像を明確に

個人が優れた技能・技術をもつだけでなく、リーダーシップを発揮して生産現場を統率し、成果を生み出す力をもつ人材を育成します。金型業界の次世代リーダーが備えるべき技能、マネジメント能力の水準が明確化されて、金型業界における人づくりの指針とします。認定された金型マスターは、社内の職能評価に反映され、現場の若手技能者・技術者の目標とすることができます。



一般社団法人 **日本金型工業会**
Japan Die & Mold Industry Association.